



南舞岡小だより



学校教育目標「学ぼう つながろう 切り拓こう」

学校所在地 〒244-0814 横浜市戸塚区南舞岡4-15-1 (TEL823-4120,4130)

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamimaioka/>

心が動く

学校長 地主 佐和子

先日、4年生とともに、プロによるバレエの鑑賞に出かけました。教育委員会の取組である「心の教育バレエの世界」と言われるもので、東京バレエ団によるクラシックバレエの鑑賞会です。本校にとっては初めての参加となりました。

会の冒頭で、子どもたちには次のような主旨のアナウンスがありました。「ダンサーはみなさんの前で踊ることを楽しみにしてくれています。鑑賞中にみなさんの気持ちが動いたら、ぜひ拍手をしてその気持ちを表してください。」同じ時間に鑑賞した横浜市内の児童は約980人、その多くがバレエの鑑賞は初めてという空間において、どんな雰囲気になるのか楽しみでもあり不安でもありました。いよいよ幕が上がりました。前のめりになる子、拍手したいという気持ちに溢れているのか胸の前で手を合わせている子など、バレエの世界に入り込んでいる子どもがほとんどでした。ダンサーの動きや表情、衣装、舞台装置、音楽等々すべてが大きな会場にいる多くの人間の心を1つにする、最初から最後までそんな時間が続きました。そして、気持ちが動いたところでの拍手の場面は、常になるほど思うときで、その回数は私の予想よりはるかに多いものでした。芸術性が高いからだけではなく、受け取る側の子どもたちの感性に大変感心しました。あっという間の1時間10分でした。

さて、この日には道中にも心に残ることがいくつかありました。学校から舞岡駅まで歩いて移動する中で、何人かの保護者の方が道に出てきて手を振って送って下さいました。そして遊歩道をすれ違う人やバス停でバスを待つ人、玄関先でその家の人と話されているお客様などが、子どもたちに「行ってらっしゃい」と声をかけて下さって、子どもたちも「こんにちは」「行ってきます」と挨拶をしていました。今、あのときに染み渡った自分の気持ちを文章にする難しさを感じているところですが、それはその場にいる誰もが笑顔になるような、温かくてほっとする時間でありました。まさにこの地域の財産だと思いました。

バレエの世界も、観客である小学生も、見送って下さった人々も、どれも私の心を動かしました。心が動くということは、実感すること、ただ思うよりも心の奥底にぐっと入り込むこと、と思っています。日々生活していれば記憶は上書きされ過去のものから順に失われがちですが、パソコンと違って人間の上書きは日付順ではなく、心にどの深さで届くかで違うものです。しばらくは残るであろうこの日のこと……。

令和4年も残り一月となりました。ウィズコロナでの教育活動の推進について、地域、保護者の皆様に、本年もご理解ご協力を賜りました。感謝申し上げます。令和5年もどうぞよろしくお願いいたします。